

令和3(2021)年度 とちぎネットアンケート結果

第11回 「在宅医療について」

1 調査目的

在宅医療の認知度や県民の視点による在宅医療提供体制づくりの課題を把握し、今後の施策に活かしていきます。

(担当課:保健福祉部医療政策課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

976名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和3(2021)年12月1日 ~ 12月14日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

3 回答者属性

回答数 477名 (回答率48.9%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	219	45.9 %
女性	258	54.1 %
計	477	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	3	0.6 %
20代	14	2.9 %
30代	71	14.9 %
40代	139	29.1 %
50代	115	24.1 %
60代	79	16.6 %
70代以上	56	11.7 %
計	477	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	226	47.4 %
県南	138	28.9 %
県北	113	23.7 %
計	477	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

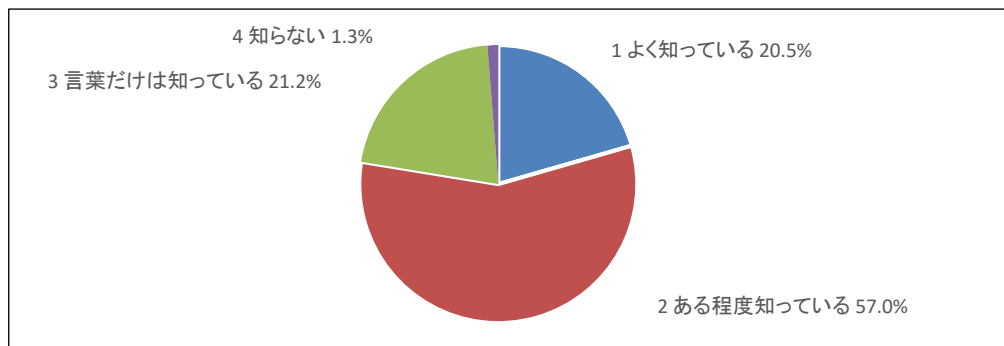
4 調査結果

問1 あなたは、「在宅医療」(※)を知っていますか。

※「在宅医療」とは、訪問診療、往診及び訪問看護など、医師や看護師などの医療従事者が自宅などの生活の場に訪問することにより提供する医療行為のことをいいます。

	構成比	回答数
1 よく知っている	20.5%	98
2 ある程度知っている	57.0%	272
3 言葉だけは知っている	21.2%	101
4 知らない	1.3%	6

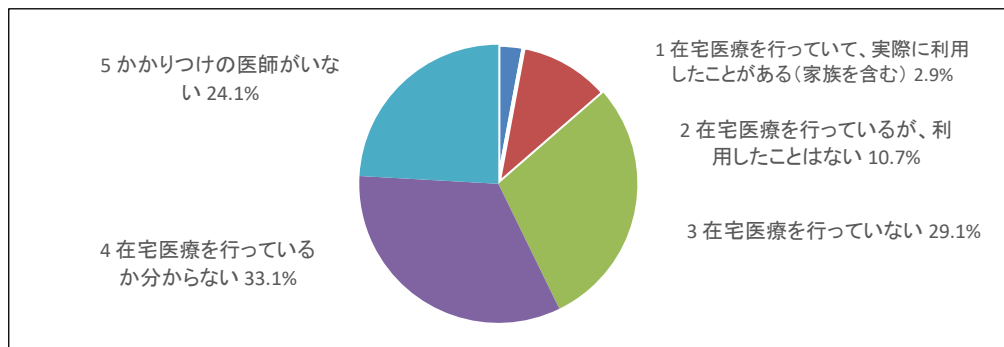
(n = 477)



問2 あなたのかかりつけの医師は、在宅医療を行っていますか。

	構成比	回答数
1 在宅医療を行っている、実際に利用したことがある(家族を含む)	2.9%	14
2 在宅医療を行っているが、利用したことはない	10.7%	51
3 在宅医療を行っていない	29.1%	139
4 在宅医療を行っているか分からない	33.1%	158
5 かかりつけの医師がいない	24.1%	115

(n = 477)

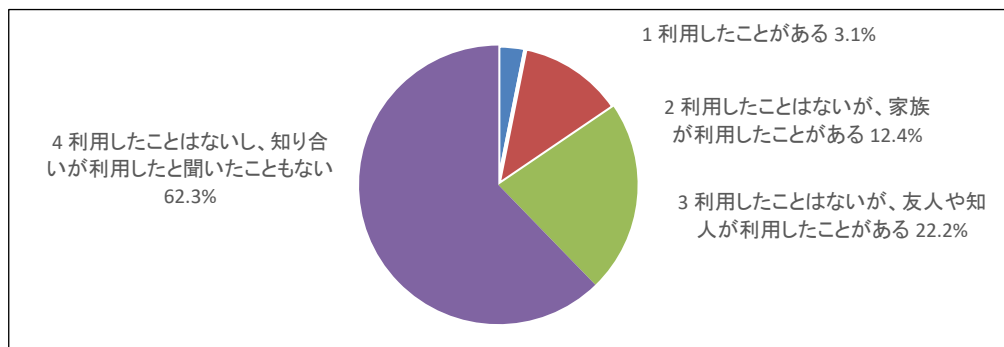


問3 あなたは、訪問看護ステーション(※)を利用したことがありますか。

※「訪問看護ステーション」とは、自宅で療養する高齢者などに病気や障害に応じた看護を行う事業所のことをいいます。

	構成比	回答数
1 利用したことがある	3.1%	15
2 利用したことはないが、家族が利用したことがある	12.4%	59
3 利用したことはないが、友人や知人が利用したことがある	22.2%	106
4 利用したことはないし、知り合いが利用したと聞いたこともない	62.3%	297

(n = 477)



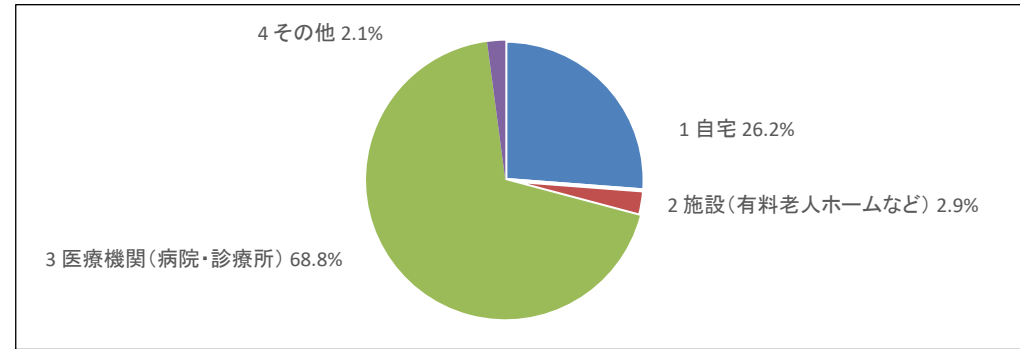
問4 あなたが、病気やけがで長期の治療・療養が必要になった場合、どこで療養したいと思いますか。

	構成比	回答数
1 自宅	26.2%	125
2 施設(有料老人ホームなど)	2.9%	14
3 医療機関(病院・診療所)	68.8%	328
4 その他	2.1%	10

(n = 477)

[その他の主な意見]

・その時の自分や家族の状況によって選択は変わる。

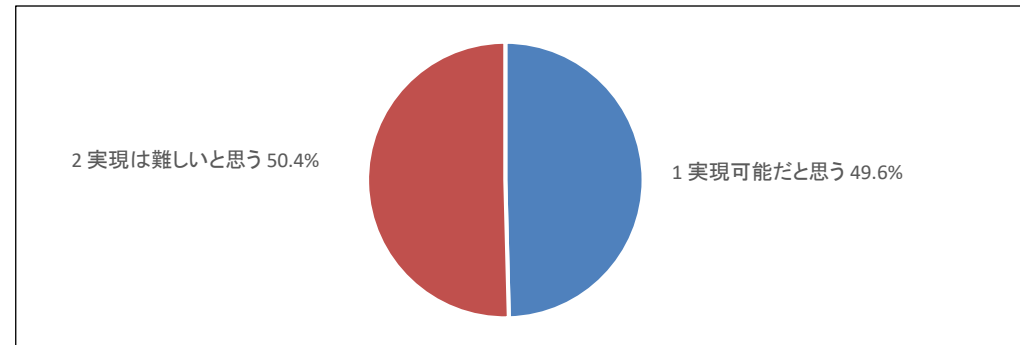


問5 (問4で選択肢1を選んだ方にお聞きします)

自宅での療養は実現可能だと思いますか。

	構成比	回答数
1 実現可能だと思う	49.6%	61
2 実現は難しいと思う	50.4%	62

(n = 123)

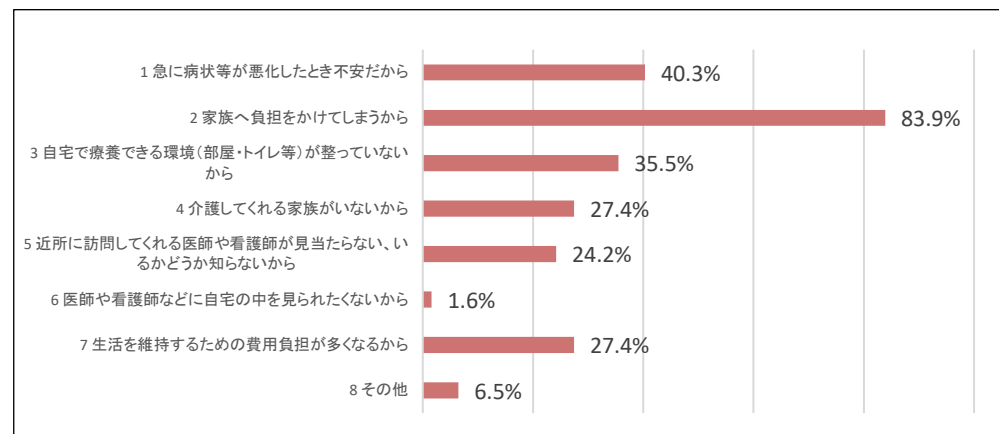


問6（問5で選択肢2を選んだ方にお聞きします）

自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか。（3つまで回答）

	構成比	回答数
1 急に病状等が悪化したとき不安だから	40.3%	25
2 家族へ負担をかけてしまうから	83.9%	52
3 自宅で療養できる環境（部屋・トイレ等）が整っていないから	35.5%	22
4 介護してくれる家族がいないから	27.4%	17
5 近所に訪問してくれる医師や看護師が見当たらない、いるかどうか知らないから	24.2%	15
6 医師や看護師などに自宅の中を見られたくないから	1.6%	1
7 生活を維持するための費用負担が多くなるから	27.4%	17
8 その他	6.5%	4

(n = 62)



〔その他の主な意見〕

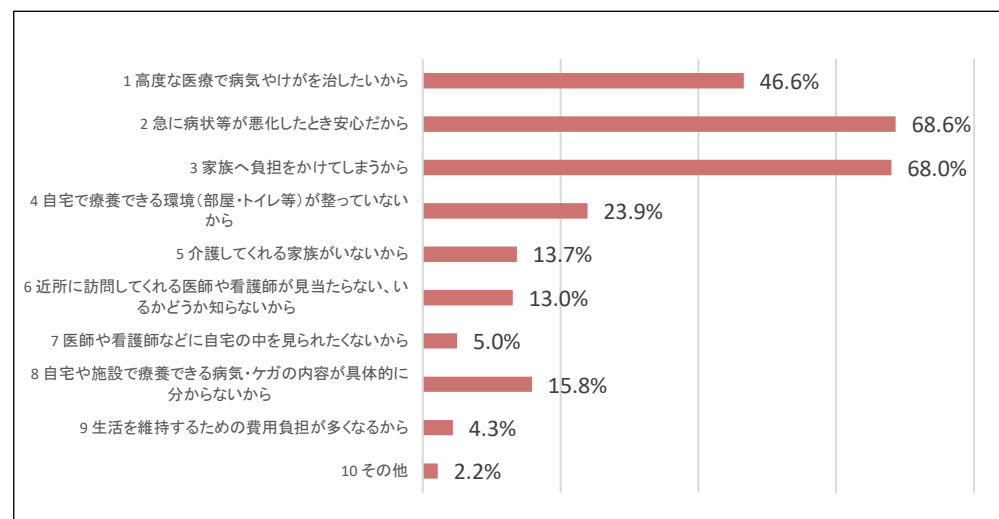
- ・医療従事者と介護者との間で、意見が合わないという話を聞くため。

問7（問4で選択肢3を選んだ方にお聞きします）

医療機関（病院・診療所）で療養したいと思う理由は何ですか。（3つまで回答）

	構成比	回答数
1 高度な医療で病気やけがを治したいから	46.6%	150
2 急に病状等が悪化したとき安心だから	68.6%	221
3 家族へ負担をかけてしまうから	68.0%	219
4 自宅で療養できる環境（部屋・トイレ等）が整っていないから	23.9%	77
5 介護してくれる家族がいないから	13.7%	44
6 近所に訪問してくれる医師や看護師が見当たらない、いるかどうか知らないから	13.0%	42
7 医師や看護師などに自宅の中を見られたくないから	5.0%	16
8 自宅や施設で療養できる病気・ケガの内容が具体的に分からないから	15.8%	51
9 生活を維持するための費用負担が多くなるから	4.3%	14
10 その他	2.2%	7

(n = 322)



〔その他の主な意見〕

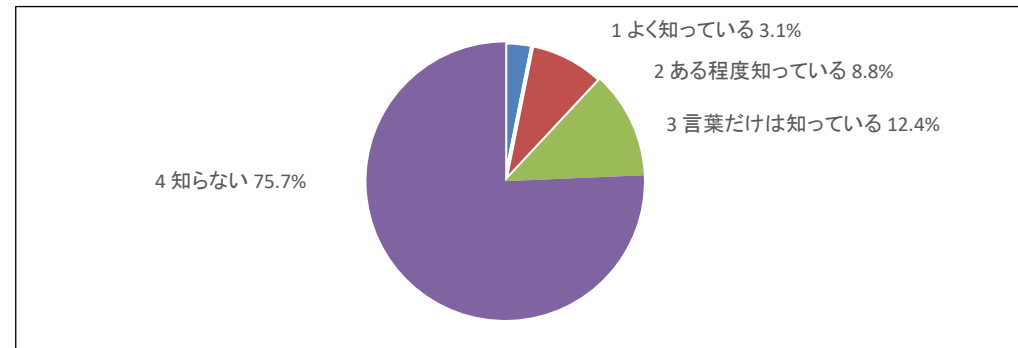
- ・自宅では家事等が気になり、療養できないため。
- ・介護が大変だから。

問8 あなたは、人生会議(ACP)(※)を知っていますか。

※「人生会議(ACP)」とは、アドバンス・ケア・プランニングの愛称で、当事者が望む人生の最終段階の医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組のことをいいます。

	構成比	回答数
1 よく知っている	3.1%	15
2 ある程度知っている	8.8%	42
3 言葉だけは知っている	12.4%	59
4 知らない	75.7%	361

(n = 477)

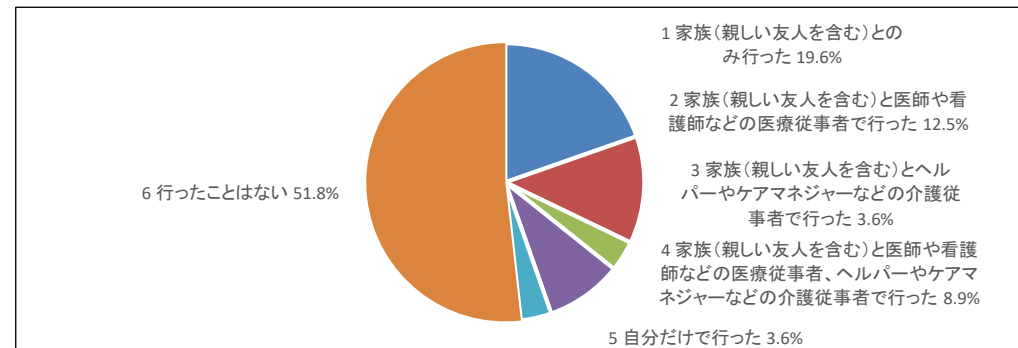


問9 (問8で選択肢1又は2を選んだ方にお聞きします)

人生会議(ACP)を行ったことがありますか。

	構成比	回答数
1 家族(親しい友人を含む)とのみ行った	19.6%	11
2 家族(親しい友人を含む)と医師や看護師などの医療従事者で行った	12.5%	7
3 家族(親しい友人を含む)とヘルパーやケアマネジャーなどの介護従事者で行った	3.6%	2
4 家族(親しい友人を含む)と医師や看護師などの医療従事者、ヘルパーやケアマネジャーなどの介護従事者で行った	8.9%	5
5 自分だけで行った	3.6%	2
6 行ったことはない	51.8%	29

(n = 56)

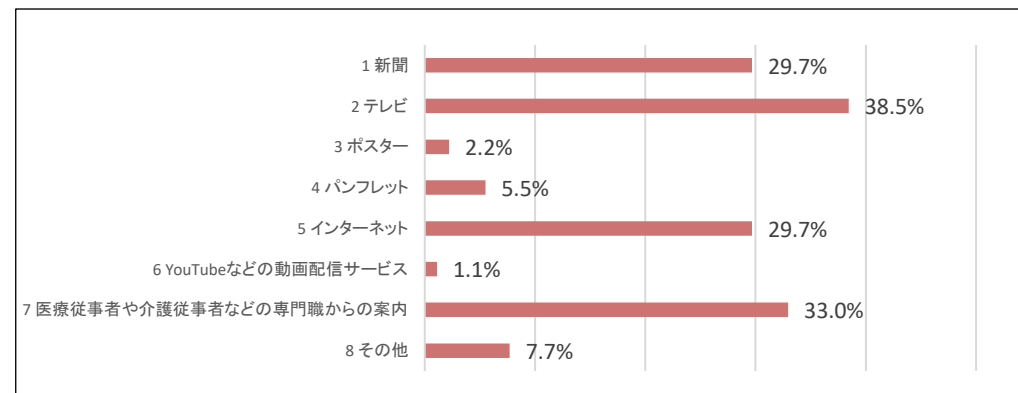


問10 (問8で選択肢1、2又は3を選んだ方にお聞きします)

人生会議(ACP)のことを何で知りましたか。(3つまで回答)

	構成比	回答数
1 新聞	29.7%	27
2 テレビ	38.5%	35
3 ポスター	2.2%	2
4 パンフレット	5.5%	5
5 インターネット	29.7%	27
6 YouTubeなどの動画配信サービス	1.1%	1
7 医療従事者や介護従事者などの専門職からの案内	33.0%	30
8 その他	7.7%	7

(n = 91)



[その他の主な意見]

・Twitter、メールなど